

原ゆうじ市政報告 VOL.95

松戸市に関すること、困りごとのご相談はお気軽に！！

TEL 070-5540-9565 メールアドレス yuji.hara88@gmail.com

ブログも好評配信中！ 公式 HP:hara88.mobi 発行元:松戸市上本郷905



(原ゆうじのプロフィール)
1965年松戸生まれ 上本郷小、松戸六中、立教高校、立教大学理学部化学科卒。長瀬産業(商社)勤務を経て家業のベーカリー店を継ぐ。H22年市議初当選、現在、市議会議員4期目

松戸市議会議員、原ゆうじ市政レポート「税金の無駄遣いは許さない！」6年夏号

昨年5月、同じ内容(議案)で議会は否決したのに、

市役所移転候補地購入の

予算33.5億円今度は可決！何でだよ！

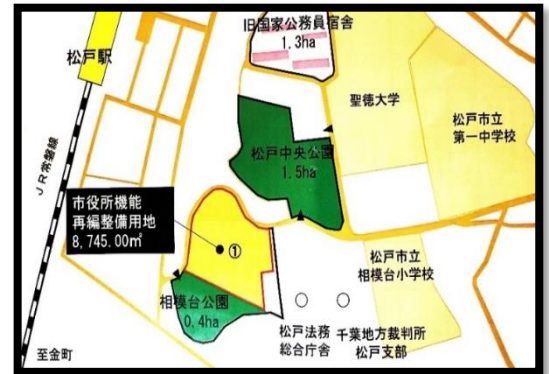
昨年5月、賛成13：反対30 → 今回は賛成30：反対13

6月議会、相模台の旧法務局跡地 8,745㎡の市役所移転候補地購入予算 33.5億円が賛成多数で可決されました。昨年5月で否決したのになぜ？レポートします！

昨年5月、市は右図①部分の国有地 8,745㎡を購入、そこに新市役所 37,000㎡を建設し、市役所を全面移転させる議案(現敷地は売却)を市議会に提案しましたが、土地が狭すぎるなどの理由で議会は否決しました。

市は、今回の6月議会に、**新たな市役所建て替え案**として**段階的整備案**(注：裏面で解説)を掲げ同じ場所の購入を再提案。

この提案に対して議会の最大会派である市民クラブ等は、「課題解決がされた」として賛成に転じ、賛成多数で可決となりました。



議会の判断は正しかった？各議員の賛否態度を公開！

どちらも反対した議員13名

原ゆうじ、DELI、増田かおる、工藤さず子(政策実現フォーラム・社民) 山中けいじ、湯浅文(無所属) 宇津野史行、ミールかずえ、山口正子、嶋村新一(日本共産党)二階堂剛、関根ジロー、戸張友子(立憲民主党)

どちらも賛成した議員13名

飯箸公明、織原正幸、伊東英一、高橋伸之、鈴木智明、松尾尚、岩瀬まり、芦田満春、丹呉顕子、井出まさ子(公明党) 中村典子、大橋博、嶋原まい

昨年5月に反対、今回6月は賛成に転じた議員

末松裕人、石井勇、広瀬優斗、大和山太郎、西田義昭、大塚健児、大谷茂範、鈴木大介、渋谷剛、箕輪信矢 市川恵一、深山よしかず(市民クラブ) 石塚裕、柿沼光利、田中睦夫、岡本優子、鷹野さとし

(注：順不同、敬称略、議長は採決に参加しません)

～原ゆうじ市政報告会開催のお知らせ～

8月4日(日) 午後4時半～6時、北松戸会館

8月2日(金) 午後3時30分～5時、明市民センター(市民団体主催)

入場無料！予約不要！皆様のお越しをお待ちしております。問合せ 070-5540-9565

市役所半分だけ移転！何それ？

段階的整備案とは何か？

→市役所の建て替えを2段階で分けて行う案

(第1ステップ)

耐震性のない本館・新館部分を新拠点ゾーン南側の国有地を新たに取得し、新庁舎想定面積3万7千㎡の内の約半分、2万㎡の庁舎を建設し移転させる。総事業

耐震性に問題ない議会棟・別館はそのまま継続使用。(右図参照)

(第2ステップ)

新庁舎想定面積3万7千㎡-新庁舎2万㎡

=1万7千㎡の庁舎整備については、現段階では未定としている。



移転は決定？段階的整備案の問題点とは？

問題点①総事業費がわからない！

第1ステップでは、土地購入費33.5億円と既存建物の解体費約3億円の計36.5億円はわかっていますが、建設費などそれ以外の経費を市は明らかにしようとはしていません。第2ステップも未定なので、総事業費が不明です。市はいくらかかるかを示さず、現地建て替えとの費用比較もせず事業を進めようとしています。

問題点②立地(場所)の問題！

今回、購入が決まってしまった国有地は、崖の上に立地しています。そのため、行くのも大変。平らな部分もわずか5,230㎡しかありません。又、崖の一部が土砂災害警戒区域となっており、市役所=災害拠点としてふさわしい場所なのか疑問です。さらには隣接して小中学校があり、交通事故増加の懸念も指摘されています。

このほかにも、現庁舎周辺の借り上げ事務所(教育委員会など)は継続使用されます。なので、一部庁舎が移転しても、**年1.8億円の賃料は発生**。加えて、市役所も現市役、現市役所周辺事務所、移転地と**市役所が分散**。用事により行く場所が変わるなど、利便性も問題視されています。

最大の問題は安全性！仮庁舎の検討をすべき！

新庁舎が完成&移転までの8年間は、耐震性が低い本館・新館を使用するとしていますが、大丈夫なのでしょうか？市が本館・新館について公表している耐震性の指標、IS(アイエス)値は**0.3**です。

しかし、この数字は、平成7年の耐震2次診断の結果で、翌8年実施のより詳細な3次診断結果では**0.25**でした。又、診断から約30年経過し、コンクリート強度の低下等でIS値は当時より低くなっていると考えるのが妥当です。こうした原ゆうじの指摘により、倒壊の危険性が高いとされる「**IS値は0.3未満も有効な数字である**」と市は答弁しました。そこで、9月に閉店予定の**旧ダイエー松戸西口店**を例に挙げ仮庁舎の検討を！と提案しましたが、市は「仮庁舎の検討はしない！」と答弁。これでいいのか！まずは職員、来庁者の安全を最優先とすべきです！

耐震性の指標 IS 値は
震度6~7の地震に対して
0.3以上0.6未満なら
倒壊の危険性がある
0.3未満なら
倒壊の危険性が高い

市役所移転は決まったのか？

今後、庁舎の設計&建設などの予算、更には、議員の3分の2以上の賛成が条件の住所移転の特別議案の議決が必要であり、現時点で移転決定とまでは言えません。そこで**原ゆうじは**、まず費用見込みを明らかにすること。そのうえで正々堂々と現地建て替えとの比較をする事。同時に、仮庁舎の検討を市に迫ります！現市役所敷地は、15,158㎡と広く市所有です。所以、現地建て替えなら、あらたな土地購入もいらず、庁舎の分散も防げます。今回、購入土地は、予定されている図書館、市民会館の建て替え用地で検討をすべきと考えます。

今後も**税金の無駄遣いは許さない！**の考えをもとに活動してまいります！